

韓流シリーズ(その1) 韓国濟州島ハンラ山

| | |
|--------|--|
| 実施日 | 平成18年6月3日~6日(日~火) |
| 天候 | 曇り時々晴れ |
| リーダー | 若村 勝昭 |
| 参加者 | 上野キヨ、横山玲子、宮田貞子、張越隆、若村勝昭、近田芳子、服部美千代、(ゲスト 羽柴 太江) 会員:7名 ゲスト:1名合計:8名 |
| コースタイム | 6月4日(日) ホテル(5:30 チャーターバス)城板岳登山口(6:00~6:20 朝食)ソクバン(7:50)ツツジ畑避難所(10:20~10:30)ハンラ山頂上(11:30~12:00 昼食)ツツジ畑避難所(13:00)ソクバン(14:30)城板岳登山口(15:45~16:00 チャーターバス)ホテル(16:30) |
| 費用 | JTB旅行費(エア、ホテル、成田・濟州島空港税、燃料費追加、ホテル~空港送迎)65,300円 ・バスチャーター(4,5,6日の2.5日間、入山料、観光入園料、チップなど含む)70,000ウオン(約9,100円) 他の食事費などは個人により相違しているので省略します。 共通の費用計:74,400円 |

所感

- ハンラ山山行報告(コースは計画を変更し、同一コースの往復としました)
朝6時20分城板岳登山口に着く。既に大型バスや乗用車が駐車場を埋め、大勢が歩き出している。心せくまま、キンパブ(海苔巻き)などをほうばり朝食とする。酢飯ではない韓国独特のノリマキ、なかなかおいしい。
平坦だが石がゴロゴロの登路を歩き出す。ドライバーのキムさんも我々に付き合っ一緒に登る。幅2m、樹林の中。やがて木道や、枕木の階段が交互に続く。後からあとから大勢のパーティーが我々を追い越す。すごいスピード。おしゃべりの声も喧しい。道が狭くなると押しのけんばかりの勢いで我々を過ぎていく。ちなみに登りでも道を譲ることはしない。強いもの優先。我々はコックリズム。
やがて、唯一の水場で水補給、やわらかい水だ。ソクバン休憩所のトイレをほぼコースタイム通りに過ぎる。いいペース。
道はやがてようやく登りになり、石ゴロ道、木道、階段状のミックス、樹林帯が続く。相変わらず韓国人グループに追い越される。全体に若い。さわやかな香りの女性パーティーの後を思わず追う。そのフェロモンで元気づく。
ようやくツツジ畑避難所。板張りのプラットフォーム、トイレ、売店。ややゆっくり休憩。ここからハンラ山の頂上が見える。山腹には富士山並みの人の列。キムさんいわく「あと2時間」。なんとか12時には頂上に着きたい。ちなみに13時までに着か

ないと、監視員から下山を命ぜられるとのこと。

頂上直下から眺望が開ける。少しモヤっているが、はるかに海岸線。足下に草原があり、ツツジの群生地がなんとか識別できる(残念ながらツツジの盛りは過ぎてしまった模様)。階段状の登路をあえぎ登ると、ようやくステージ状の頂上、11時半。握手、握手。しかし、登山者の多いこと。無量200人位?指揮台の上から監視員がマイクで「はい、そこ詰めて座って。弁当のごみはちゃんと持ち帰って。危ないところに登っちゃイケンヨ」と叫ぶ。

頂上の端は崖で、大火口の中に白鹿譚の池を望む。神話の淵だ。ステージに座って我々もお弁当。昨日スーパーで買った韓国ノリマキやキムチおにぎり、サンドウィッチをほうばる。傍のアジョシ(おじさん)とアジュマ(おばさん)グループの弁当は豪華、とんかつ、エビフライ、煮物、野菜サラダ、トマト、必携のキムチは別パック、ご飯も別の折。もちろん焼酎のピンも回される。元気な昼餐だ。

1人のおじさんの腕には金無垢口レックス、ダイヤ入り金指輪。マル金の登山者。この人に登頂記念写真のシャッターを押してもらおう。「カムサムニダ。」

山頂に名残を惜しんで、さあ下山。往路をひたすら下る。最後尾をドライバーのキムさんをお願いする。

いやになるほど歩いて、朝の登山口、9時間25分の行程を終えた。缶ビールもそこそこバスの人になりホテル帰着。キムさんありがとう、こぶし会の皆さんありがとう、ハンラ山ありがとう、ハングクサラム(韓国の人)ありがとう。なかなかいい山でした。

2. おまけの報告

帰国日の午前中にハンラ山の子供の山、オソンセンアク山に登りました。30分コックリ登ると、昔の砲台のあった頂上、向かいにはおととい登ったハンラ山、足元にはゆったり広がる緑の絨毯。高い山も良いですが、こんなハイキングも楽しいものです。

3. おまけの報告

今回食べたもの順不同羅列リストです(ただし、メンバーにより相違あり。お弁当は除く)

マンドウ(肉まん)、ククス(うどん)、太刀魚焼き魚、スズメダイコチジャン和え、スズメダイ水刺身、お魚スープ、ヤンニョン牛焼肉(2種)、ヘジャンクク(牛スープごはん)、コムタンスープごはん、鯛さしみ、平目さしみ、海老塩茹で、ほや、なまこ、さざえ、茹でたこ刺身、チゲ鍋、ちり鍋、豚三段バラ焼肉(2種)、オニオンサラダ、サムゲタン(ひな鳥スープ煮)、キムチ、ムルキムチ(水キムチ)、カクテキ、ポテトサラダ、りんごサラダ、サンチェ、ケンニブ(荳胡麻の葉)、青唐辛子、にんじんスティック、きゅうりスティック、ナムル、うずらの卵、桔梗の根の漬物、ケジャン(渡り蟹の辛味漬)、ネンミョン(冷麺)、海草サラダ、青菜漬物、葛トトリ(ゼリー)、にんにく(生、オイル焼き)、とんかつ、讃岐うどん、チェジュ島みかん、ハンラぼん(ポンカン)……後は忘れました。

飲み物は、ビール、コーラ、マッコリ(どぶろく)、コーヒー、焼酎、オミジャ茶(こけももの蜂蜜漬けドリンク)、とうもろこしヒゲ茶など。